

令和4年

第1回 定例会

●質疑とは……

議会に提出した議案に対してその内容や不明な点を聞くことです。

2月25日～3月15日

34案件

議案	25案件
報告	2案件
行政報告	1案件
教育行政報告	1案件
意見書案	4案件
決議案	1案件

Pick up
1

常任委員会

総務文教常任委員会・産業民生常任委員会

《総務文教常任委員会》

◎伊達市道路上占用料徴収条例の一部を改正する条例

◎伊達市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例

◎伊達市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

◎伊達市史跡公園条例の一部を改正する条例

両委員会に付託（任せられた）案件については可決（認められ）されました

《産業民生常任委員会》

◎市道の路線の認定及び変更について

◎有害鳥獣駆除対策について

■所管事務調査

★令和4年1月28日(金)

◎伊達市社会福祉協議会との意見交換会

◎伊達市土地改良事業負担金条例の一部を改正する

◎国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する

条例

Pick up 2 安心できる地域医療のために

伊達赤十字病院へ医療確保支援事業補助金として、運営経費の一部、約1億5,400万円を計上しました。これは、地域医療の質の低下を防ぎ、出産や子育てに不安がないようにするためであります。

こんな質疑がありました。

質疑▼補助額、1億5,435円の根拠は。

答弁▼小児救急、周産期という公的病院が担う不採算部門の赤字に対して、今年度も支援するため。金額の根拠は診療科目ごとで計算したところ、約2億8千万円の赤字となつている。市の財政状況もふまえて今回の補助額を決定した。

質疑▼周産期医療等について令和4年度は難しくなると聞いていますが、今後の考えは。

答弁▼協議は継続する。また、必要な支援も継続予定。



伊達赤十字病院

質疑▼交付税措置の見込額は。

答弁▼令和2年度は約1億2,300万円の交付がされており、同額程度の交付税措置だと思われる。

Pick up 3 空き家対策、周知不足か

空き家等対策推進事業を行ったが、取得申請が著しく少なく、当初の予算額が使われなかつたため、約840万円の減額補正を行つた。

こんな質疑がありました。

質疑▼申請件数が見込みよりも少なかつたことだが、どう分析したのか。

答弁▼この事業は空き家解体事業と空き家取得事業という2つで行つている。

解体の方は見込みどおりであつたが、取得は1件だけという状況であった。こちらについては周知不足であった。

質疑▼空き家の取得について周知が十分であつたら、利用の見込みはあるのか。

答弁▼そう考えている。



Pick up 4

だてのまち応援券、 電子券利用伸びず

紙券は好評で多くの利用がありましたが、新しい取り組みであつた電子券の利用がまだ浸透しなかつたこと、またコロナ禍の状況もあり販売数が伸びなかつたため、約600万円の減額補正を行つた。

こんな質疑がありました。

質疑▼約600万円の減額の理由はどういったことなのか。

答弁▼コロナ禍によって開始時期が6月から10月に変更になり期間短縮したことなど一つの要因である。

質疑▼チケットの電子化についてどうとらえているか。

答弁▼最初、チケットは紙とデジタルを同数で販売したが、紙券の利用が約9割合で電子券が思つたほど伸びなかつた。その後、電子券の残り分を紙券で増刷し、ランチ、ディナー券は、ほぼ完売となつたが、

スナック・バー券は申請が伸びなかつた。

電子券は売れ行きが伸びなかつたという状況であり、今後利用状況の調査を行う。

質疑▼電子券はなじみがなく敬遠されてしまつた印象があるが、今後継続する考えはある。

答弁▼新たにシステムの再構築は難しいが、再活用は理屈上可能である。

こんな質疑がありました。

質疑▼特に道内では利用できる店舗が少ない認識はあるか。

答弁▼利用店舗の広がりが欠けていることは認識している。

質疑▼情報が更新されていない伊達まちカードのHPは誰が管理しているのか。

答弁▼サーバーの管理は委託しているが、ページの内容は市で管理している。

質疑▼継続していく目的、今後の考えは。

答弁▼道の駅に来場するお客様を市内のお店に誘導したい。しかし、現在のカードでは

それが難しいと考えており、店舗負担が少ない新規のカードも内部で検討している。決まりやすく取り掛かりたい。

地域循環型ポイントカード（伊達まちカード）平成27年から開始した事業であるが、ポイント付与、または利用できる店舗も少ないと課題も多い。

Pick up 5

どうなる、伊達まちカード



* 伊達まちカード専用サイトQR

* 市内の主な利用可能施設

だて歴史文化ミュージアム・道の駅・総合体育館・図書館・温水プール・トレーニング室・だて教育センターEスポーツ。。。もしくは専用HPのQRコード。

Pick up 6

期待高まる、大滝の観光振興

総合レジャー施設オープン

旧大滝中学校を活用して体験型アクティビティ事業を行う建物建設費などに約1億8,700万円を計上する。



旧大滝中学校

体育館を利用した屋内エアパークでトランポリンなどのアトラクション、校舎を使ったレーザー光線型のサバイバルゲームや校舎裏のノルディックコースの一部を利用したバギー体験など総合レジャー施設を予定している。

はちみつ体験観光施設オープン

優徳農村公園コミュニティ施設を活用して地場産品であるはちみつを生かした体験観光施設へ改修する費用として事業費約3,900万円を計上する。

はちみつ体験観光施設オープン

老朽化している施設を修繕し、はちみつの製造過程の見学や加工及び調理を体験できる工房へ改修し、軽食などの提供、販売スペース施設も設置する。

答弁▼長期的には維持管理を指定管理業者から今回の事業者に移行していくたい。

こんな質疑がありました。



優徳農村公園コミュニティ施設

質疑▼新規事業の経緯は。
答弁▼利利用が低迷、有効的な活用ができていなかったため。
質疑▼広い公園敷地の管理はどう考えているか。

Pick up 7

伊達市の公共交通、便利に快適に！

みんなにやさしいタクシー導入

障がい者や高齢者の乗り降りや荷物の積み下ろしが容易なユニバーサルデザイン（UD）タクシーを導入するため、経費の一部、約680万円を補助する。

こんな質疑がありました。

質疑▼事業の経緯、詳細は。
答弁▼タクシー事業者と意見交換し、効果的と判断。当面



ユニバーサルデザインタクシー（イメージ画像）

は3年で2つの事業者に合わせて6台導入する予定。導入にあたり運転手の講習受講も条件としている。

質疑▼デマンドタクシー導入の経緯は。
答弁▼バス路線の廃止を検討している胆振線代替バスに代わる交通手段の確保のため。

質疑▼今後の予定と詳細は。
答弁▼10月頃から1日2往復、10名乗りのワゴンタイプの車で運行予定。

スマートフォンや電話で予約、AI（人工知能）による配車で快適なサービスを提供する。事業者には車両運転と維



デマンドタクシー（イメージ画像）

大滝区でデマンドタクシー導入

路線の廃止を検討している国鉄胆振線代替バスに代わる交通手段の確保のため、デマンド交通の導入費用として、約1,450万円を計上する。

こんな質疑がありました。

持管理を業務委託する。

Pick up 8 災害対策万全に

令和4年度の防災対策費は、近い将来に想定される災害に対応するため、約1,800万円で可決されました。主な内訳は日本海溝沖、千島海溝沖地震を想定した津波ハザードマップに約390万円。防災訓練費に約120万円。

こんな質疑がありました。

質疑▼津波ハザードマップはどういう形で市民に配布されるのか。

答弁▼自治会未加入世帯も含めて17,900世帯と1,000事業所に配達する。

質疑▼今年度の防災避難訓練はどの地域が対象か。

答弁▼コロナの感染状況をみながら、黄金地区・稀府地区・網代町・錦町と伊達小学校を考えている。

質疑▼津波災害時の避難施設として民間宿泊施設との災害提携の予定はあるか。



答弁▼野口観光グループの大滝区にある緑の風、ホロホロ山荘、ソラニワと災害提携を昨年、提携している。

Pick up 9 高校生への支援・教職員の労働改善

令和4年度の教育費全体予算是、約25億1,400万円で可決されました。中でも北海道伊達開来高校の教育支援に約2,268万円、市内の小中学校へ導入する校務システムに約573万円を投入し、教員の長時間労働改善に取り組みます。

こんな質疑がありました。

質疑▼伊達開来高校の補助額は昨年度の倍増となつたが、その内訳は。

答弁▼海外見学旅行補助や留学補助、予備校等によるオンラインでの学習向上のための支援となる。

質疑▼校務システム導入により、どう改善されるのか。

答弁▼学校の経理事務の時間短縮と教員の長時間労働改善は、一人あたり年100時間の圧縮は可能と期待している。
質疑▼同システムが近隣自治体でも導入されていると、教



員の異動時にも効果的では。
答弁▼効果的であり、近隣も隨時導入と情報がある。